

パラリンピアンに対する社会的認知度調査

■目次

調査概要

- (1) 調査目的
- (2) 調査内容
- (3) 調査対象
- (4) 調査期間
- (5) 調査方法
- (6) 回答結果
- (7) 調査報告ならびにトピック内に示した図表の注意事項
- (8) 大会名の略称

要約

調査報告

1. パラリンピアンへの認知度
2. パラリンピックの観戦
 - 2.1 パラリンピックの観戦形態
 - 2.2 観戦種目
 - 2.3 大会観戦後の感想
3. 障害者スポーツとの接点
 - 3.1 障害のある人がスポーツを行う光景
 - 3.2 障害のある人がスポーツを行う光景で見る種目
4. クロス集計
 - 4.1 身近に障害者がいるか否かで見るとパラリンピック観戦
 - 4.2 身近に障害者がいるか否かで見ると観戦後の感想
 - 4.3 身近に障害者がいるか否かで見ると障害のある人のスポーツを行う光景
 - 4.4 日常生活で障害のある人がスポーツを行う光景を見ることの有無別に見ると観戦
5. まとめと考察

執筆者紹介

附録1 パラリンピアンに対する社会的認知度調査 調査票

附録2 パラリンピアンに対する社会的認知度調査 集計表

調査概要

(1)調査目的

ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック競技大会開催後のパラリンピアンに対する社会的認知度を測定する。前回調査との比較を行い、変化、傾向、要因などを調査する。

(2)調査内容

主な調査内容は以下のとおりである。

- ・ パラリンピアンの社会的認知度
- ・ ミラノ大会の視聴状況
- ・ 大会観戦後の感想
- ・ 日常生活におけるスポーツ環境

(3)調査対象

全国の都道府県に存在する 20 歳以上の男女

(4)調査期間

2026 年 5 月 15 日(金)～2026 年 5 月 19 日(火)

(5)調査方法

インターネットによるウェブ調査

(6)回答結果 回答者数:2,060 人

東日本エリア/男性/20 代	103	西日本エリア/男性/20 代	103
東日本エリア/男性/30 代	103	西日本エリア/男性/30 代	103
東日本エリア/男性/40 代	103	西日本エリア/男性/40 代	103
東日本エリア/男性/50 代	103	西日本エリア/男性/50 代	103
東日本エリア/男性/60 代以上	103	西日本エリア/男性/60 代以上	103
東日本エリア/女性/20 代	103	西日本エリア/女性/20 代	103
東日本エリア/女性/30 代	103	西日本エリア/女性/30 代	103
東日本エリア/女性/40 代	103	西日本エリア/女性/40 代	103
東日本エリア/女性/50 代	103	西日本エリア/女性/50 代	103
東日本エリア/女性/60 代以上	103	西日本エリア/女性/60 代以上	103

(7)調査報告ならびにトピック内に示した図表の注意事項

- ・ クロス集計においては、原則 χ^2 検定分析による有意差検定で処理して、有意水準 1%を▲▼、5%を△▽で表示するとともに、有意差が認められない場合には非表示とした。

(8)大会名の略称

本報告書では、冬季パラリンピック競技大会の名称は以下の表記とする。

- ・ 北京 2008 パラリンピック競技大会(以下、北京大会(夏))
- ・ バンクーバー2010 パラリンピック競技大会(以下、バンクーバー大会)
- ・ ロンドン 2012 パラリンピック競技大会(以下、ロンドン大会)
- ・ ソチ 2014 パラリンピック競技大会(以下、ソチ大会)
- ・ リオデジャネイロ 2016 パラリンピック競技大会(以下、リオ大会)
- ・ 平昌 2018 パラリンピック競技大会(以下、平昌大会)
- ・ 東京 2020 パラリンピック競技大会(以下、東京大会)
- ・ 北京 2022 パラリンピック競技大会(以下、北京大会(冬))
- ・ パリ 2024 パラリンピック競技大会(以下、パリ大会)
- ・ ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック競技大会(以下、ミラノ大会)

要約

- ◆ 前回北京大会(冬)において最上位であった「村岡桃佳」の認知度は、11.6%から 5.9%へと半減しており、2 位以下の選手の認知度については、全体的に微減となっており、北京大会(冬)と比べ大幅な変化はみられなかった。
- ◆ 「村岡桃佳(アルペンスキー)」の正答率については、北京大会(冬)の 46.9%から 36.4%へと減少しており、また、2 位以下の選手の正答率については、それぞれ増減がみられるものの、認知度と同様に北京大会(冬)と比べ大幅な変化はみられなかった。
- ◆ ミラノ大会の観戦形態は、「テレビでニュースを観た」が 37.0%で最も多く、ついで、「テレビで中継・録画を観た」(26.3%)、「テレビで特集を観た」(14.7%)、「SNS (Facebook、X(Twitter)、Tik Tok、Instagram 等)でニュースを観た」(7.5%)であった。一方で、「このジャンルは観なかった」は 53.0%であった。観戦した競技は、「スノーボード」(41.9%)が最も多く、ついで、「開会式」(29.0%)、「アルペンスキー」(21.5%)、「閉会式」(15.1%)、「クロスカントリースキー」(13.3%)であった。
- ◆ 障害者スポーツの体験ならびにボランティア参加意欲については、「体験したい」が 20.6%、「ボランティアをしたい」が 19.8%であった。平昌大会以降の夏季・冬季大会と比べると、東京大会時の体験・ボランティア参加意向が若干高くなっているものの、大きな違いはみられなかった。
- ◆ ミラノ大会を観戦した感想は、「アスリートとして非常に優れていると感じた」(57.5%)が最も多く、ついで、「障害の有無にかかわらず、スポーツは一緒にできると感じた」(51.7%)、「障害者への偏見がなくなった、身近な存在に感じた」(50.4%)であった。すべての項目において、2018 年の平昌大会以降の夏季・冬季大会中、「当てはまる」の回答割合が最小となっていた。
- ◆ 日常生活の中で「障害のある人がスポーツを行う光景を見ることがある」は 7.7%だった。その中で、見たスポーツの種目は、「バスケットボール」が 37.1%と最も多く、ついで、「テニス」18.9%、「ジョギング・ランニング」17.0%、「水泳」15.1%、「ボッチャ」14.5%、「陸上競技」11.9%、「サッカー」10.7%であり、平昌大会以降の夏季・冬季大会と比べると、バスケットボールの割合が増加していた。

調查報告

1. パラリンピアン認知度

ミラノ大会に出場した全 44 名の選手を対象に認知度を尋ねた。

なお、本項目について、過去の調査報告においては、認知度上位の選手を列挙していたが、今回は前回北京大会(冬)の認知度上位 10 選手のミラノ大会との比較を行うこととした。その背景として、本調査において、認知度は上位であるが正答率が下位となる選手が複数名みられ、質問が「あなたは、以下に示す人物について知っていますか」となっており、「パラリンピアン」という想定がしばらく、有名スポーツ選手や著名人等の氏名を想起させる一部選手の認知度が上位となったものと推察されることから、今回は認知度順の記載をせず、図表 1 のとおり、前回北京大会(冬)の認知度上位 10 名の経年比較を行った。

前回北京大会(冬)において最上位であった「村岡桃佳」の認知度は、11.6%(知っている:4.5%、聞いたことがある:7.1%)から、5.9%(知っている:2.5%、聞いたことがある:3.4%)へと半減しており、正答率についても 46.9%から 36.4%へと減少している。また、2 位以下の選手の認知度については、全体的に微減となっており、正答率については個々に増減がみられるものの、北京大会(冬)と比べ大幅な変化はみられなかった。

図表 1 パラリンピアン認知度と正答率(北京大会(冬)上位 10 名の経年比較)

北京大会(冬) n=2,201

(%) ミラノ大会 n=2,060

(%)

NO	氏名	認知している (知っている+聞いたことがある)			競技名	正答率	認知している (知っている+聞いたことがある)			正答率
		知っている	聞いたことがある	聞いたことがある			知っている	聞いたことがある	聞いたことがある	
1	村岡 桃佳	11.6	4.5	7.1	アルペンスキー	46.9	5.9	2.5	3.4	36.4
2	岡本 圭司	5.6	1.3	4.3	スノーボード	21.1	5.8	1.6	4.2	10.0
3	小栗 大地	4.5	1.0	3.5	スノーボード	11.0	3.9	1.7	2.2	13.9
4	川除 大輝	4.2	1.4	2.8	クロスカントリー	27.2	3.2	1.3	1.9	31.3
5	新田 佳浩	4.1	1.3	2.8	クロスカントリー	24.4	3.2	1.3	1.9	24.6
5	高橋 幸平	4.1	1.0	3.1	アルペンスキー	9.9	—	—	—	—
7	森井 大輝	3.9	1.4	2.5	アルペンスキー	22.1	3.5	1.3	2.2	24.7
7	森 宏明	3.9	1.1	2.8	クロスカントリー	12.8	3.1	1.2	1.9	25.4
9	藤原 哲	3.9	0.9	3.0	アルペンスキー	9.4	—	—	—	—
10	佐藤 圭一	3.7	1.1	2.6	クロスカントリー／バイアスロン	17.1	4.8	1.6	3.2	12.1
10	田中 佳子	3.7	1.0	2.6	アルペンスキー	17.3	—	—	—	—

※正答率：クロスカントリー／バイアスロン両方に出場した選手の場合、いずれかを選択していたら正解とする

※同率10位のため、11人掲載

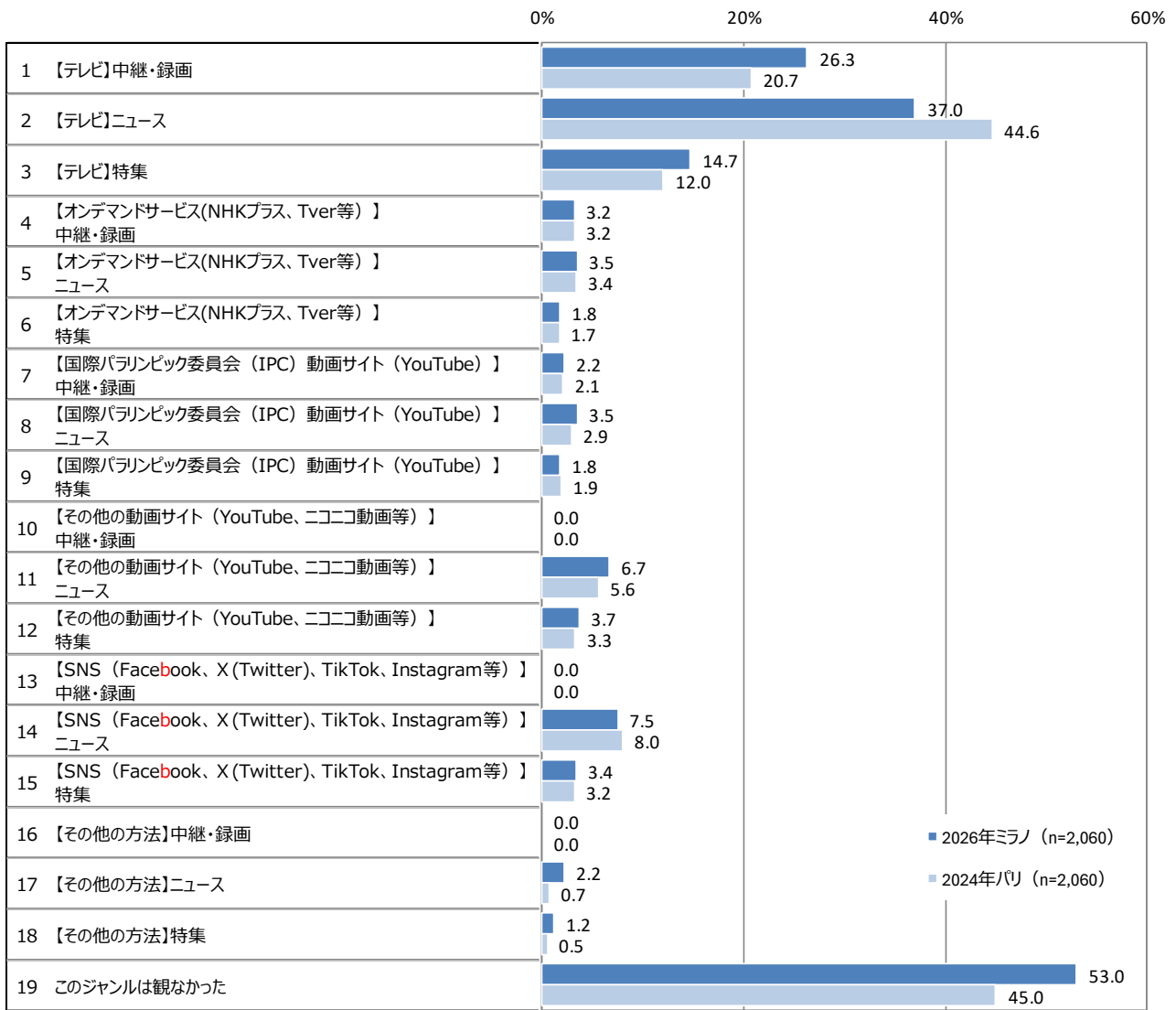
2. パラリンピックの観戦

2.1 パラリンピックの観戦形態

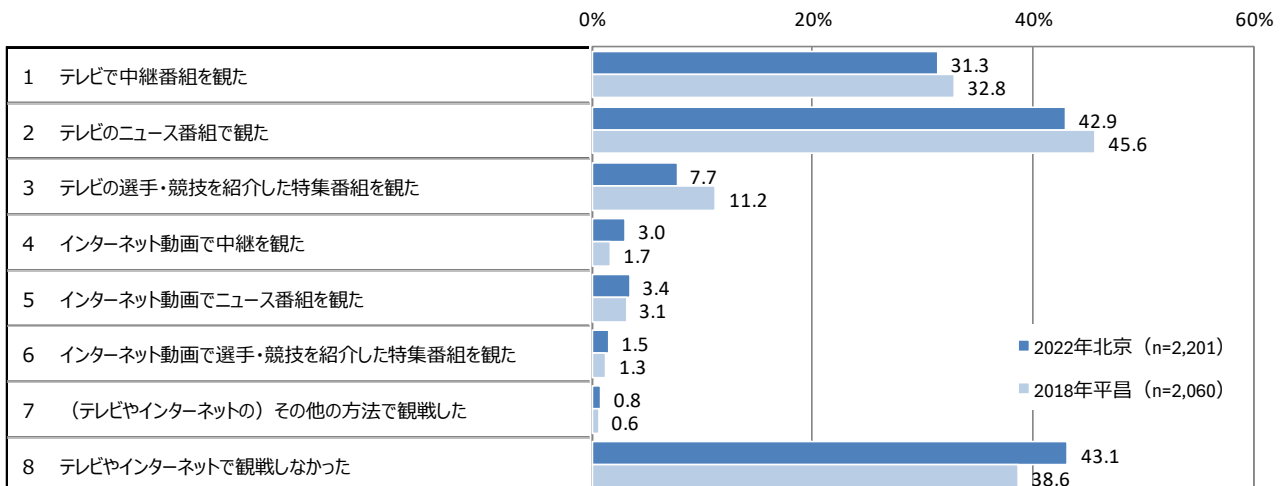
ミラノ大会の観戦形態についてみると、「【テレビ】ニュース」が37.0%と最も高く、ついで、「【テレビ】中継・録画」(26.3%)、「【テレビ】特集」(14.7%)となっており、テレビ視聴の割合が他の媒体と比べて相対的に高くなっている(図表 2)。また、パリ大会と比較すると、「【テレビ】ニュース」(パリ大会:44.6%/ミラノ大会:37.0%)、「【テレビ】中継・録画」(パリ大会:20.7%/ミラノ大会:26.3%)、「【テレビ】特集」(パリ大会:12.0%/ミラノ大会:14.7%)となっており、ミラノ大会ではニュースの視聴割合が減り、中継・録画の視聴割合が増加していたが、全体的な傾向はパリ大会と同様であった(図表 2)。また、平昌・北京大会と比較をすると、「【テレビ】中継・録画」(平昌大会:32.8%/北京大会(冬):31.3%/ミラノ大会:26.3%)、「【テレビ】ニュース」(平昌大会:45.6%/北京大会(冬):42.9%/ミラノ大会:37.0%)と、テレビでの各種視聴割合が大会を経るごとに減少している(図表 3)。

また、テレビ以外の視聴形態については、「【その他の動画サイト(YouTube、ニコニコ動画等)】ニュース」(6.7%)、「【SNS(Facebook、X(Twitter)、TikTok、Instagram 等)】ニュース」(7.5%)が上位となっていたが、パリ大会と同様にテレビと比べインターネット動画や SNS による視聴割合は低調となっている。なお、「このジャンルは観なかった」の割合が53.0%となっており、パリ大会(45.0%)と比べ増加しており、平昌・北京大会(冬)と比較をすると、平昌大会:38.6%/北京大会(冬):43.1%/ミラノ大会:53.0%となっており、過去の冬季大会と比べて「観なかった」割合が増加している。

図表 2 パリ・ミラノ大会の観戦形態(複数回答)



図表 3 【参考】平昌・北京大会(冬)の観戦形態(複数回答)

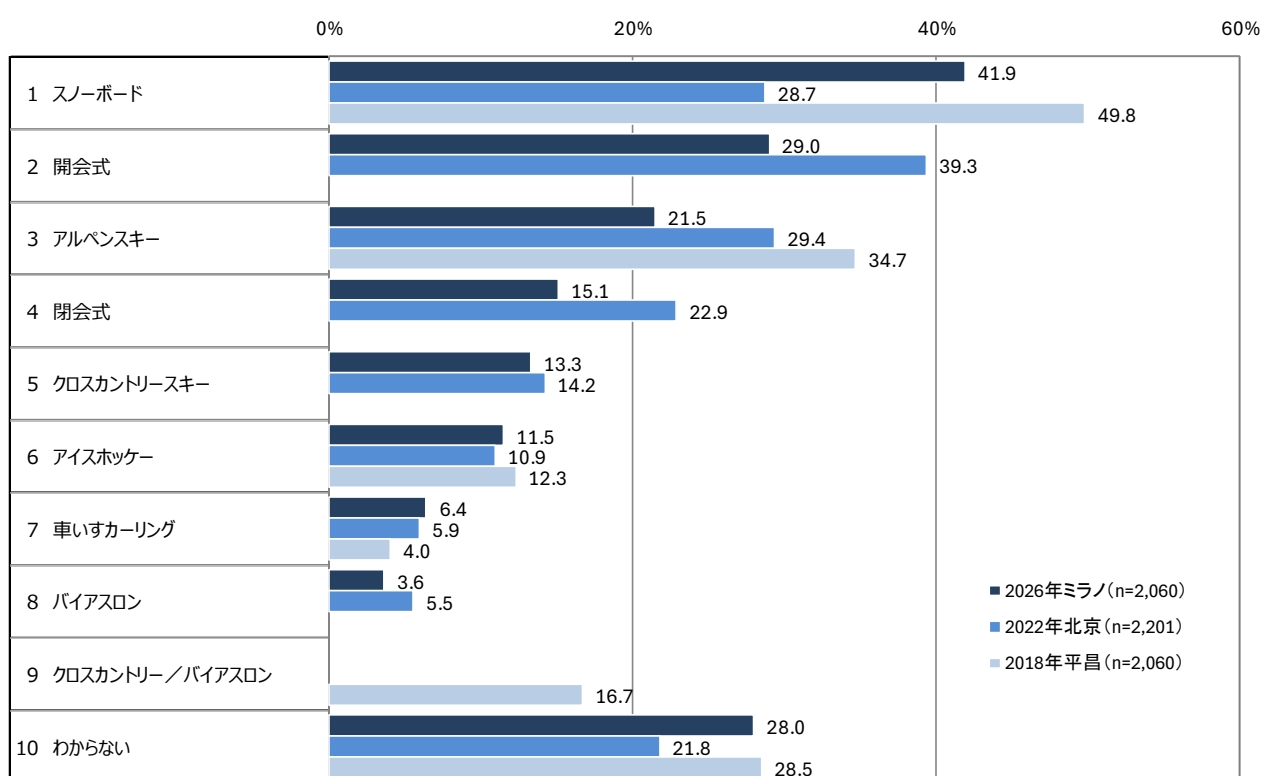


2.2 観戦競技

テレビやインターネット、各種 SNS でミラノ大会を観戦した人に観戦競技について尋ねたところ、「スノーボード」が41.9%と最も多く、ついで、「開会式」(29.0%)、「アルペンスキー」(21.5%)、「閉会式」(15.1%)、「クロスカントリースキー」(13.3%)が上位となっており、「わからない」は28.0%であった(図表4)。

過去の冬季大会と比較すると、「アルペンスキー」が、平昌大会:34.7%/北京大会(冬):29.4%/ミラノ大会:21.5%と減少している一方で、「スノーボード」が、平昌大会:49.8%/北京大会(冬):28.7%/ミラノ大会:41.9%となっており、スノーボードの今大会での観戦割合が非常に高い点特徴的である。

図表4 過去3大会(冬季)の観戦競技



※「開会式」、「閉会式」は2018年調査では回答選択肢なし

※「クロスカントリー／バイアスロン」は2018年調査では同一選択肢とし、2022年調査、2026年調査ではそれぞれとしている

2.3 大会観戦後の感想

① 観戦意欲

テレビやインターネット、各種 SNS でミラノ大会を観戦した人に障害者スポーツ(パラスポーツ)の観戦意欲について尋ねたところ、「テレビやインターネットで観戦したい」が 37.4%(よく当てはまる:8.5%/やや当てはまる:28.9%)、「直接観戦したい」が 24.4%(よく当てはまる:4.6%/やや当てはまる:19.8%)となっており、直接観戦よりも間接観戦を希望する割合が高くなっている(図表 5)。また、平昌大会からパリ大会までの経年で比較をすると、東京大会が「テレビやインターネットで観戦したい」(54.3%)、「直接観戦したい」(34.3%)となっており、観戦意欲が高くなっているが、他の大会については間接観戦、直接観戦ともにミラノ大会との大きな違いはみられなかった。

また、各大会の直接観戦意欲については、平昌大会後の「2020 年東京パラリンピックを直接観戦したい」が 35.2%(よく当てはまる:9.3%/やや当てはまる:25.9%)が最も高く、他の大会については夏季、冬季を問わず大きな差はみられなかった。

図表 5 大会観戦後の感想 1/3(観戦意欲)

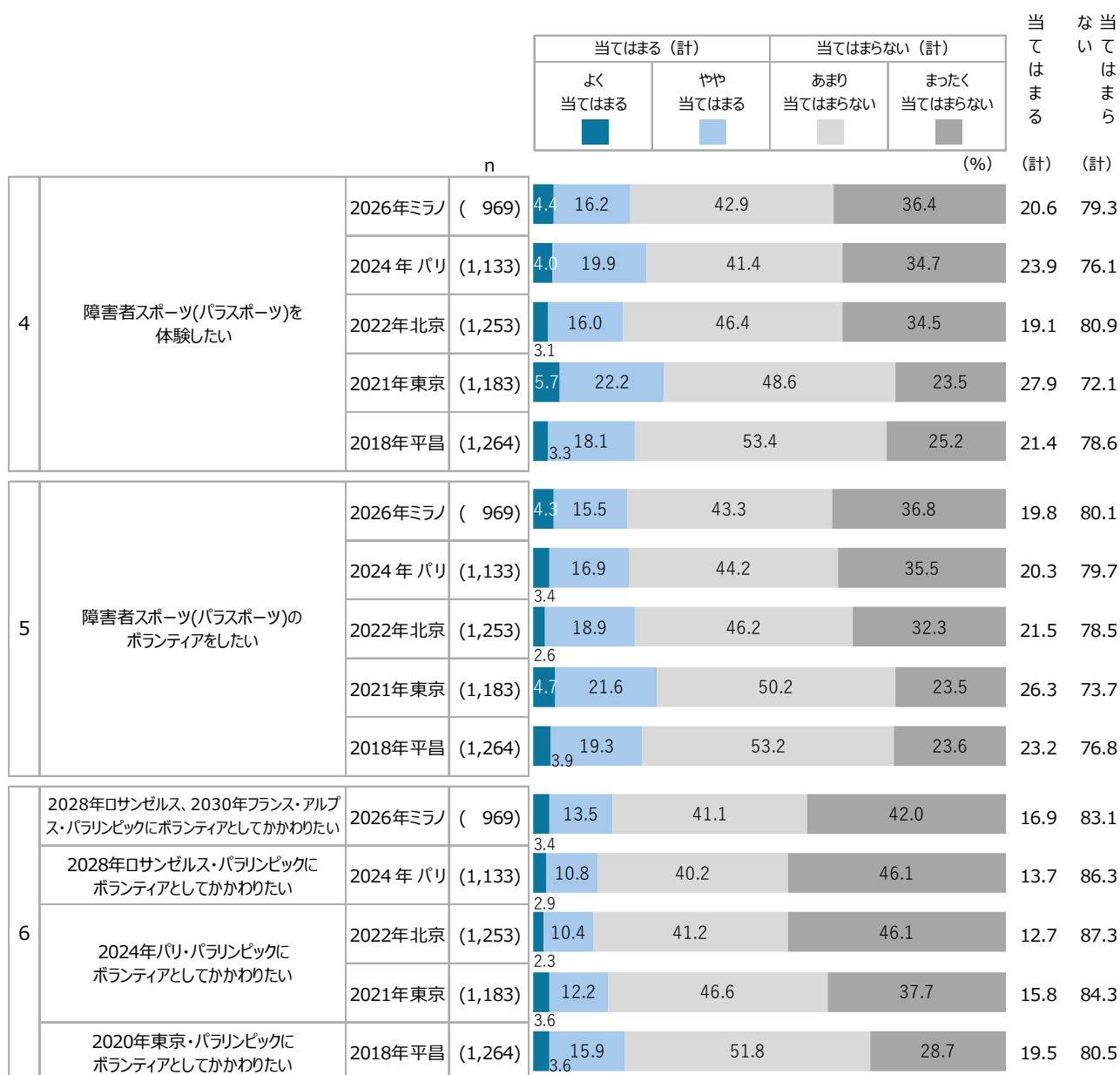
				当てはまる（計）		当てはまらない（計）		当 て は ま る (計)	な い て は ま ら (計)
				よく 当てはまる 	やや 当てはまる 	あまり 当てはまらない 	まったく 当てはまらない 		
n				（%）					
1	障害者スポーツ(パラスポーツ)を テレビやインターネットで観戦したい	2026年ミラノ	(969)	8.5	28.9	38.9	23.7	37.4	62.6
		2024 年 パリ	(1,133)	8.1	35.9	35.5	20.5	44.0	56.0
		2022年 北京	(1,253)	6.4	33.5	40.5	19.6	39.9	60.1
		2021年 東京	(1,183)	11.8	42.5	36.4	9.2	54.3	45.6
		2018年 平昌	(1,264)	6.7	37.4	43.3	12.6	44.1	55.9
2	障害者スポーツ(パラスポーツ)を 直接観戦したい	2026年ミラノ	(969)	4.6	19.8	44.5	31.1	24.4	75.6
		2024 年 パリ	(1,133)	5.9	20.0	44.7	29.4	25.9	74.1
		2022年 北京	(1,253)	3.6	20.0	48.1	28.3	23.6	76.4
		2021年 東京	(1,183)	7.7	26.6	47.4	18.3	34.3	65.7
		2018年 平昌	(1,264)	4.6	21.4	53.8	20.3	26.0	74.1
3	2028年ロサンゼルス、2030年フランス・ アルプス・パラリンピックを直接観戦したい	2026年ミラノ	(969)	4.3	18.0	41.1	36.6	22.3	77.7
	2028年ロサンゼルス・パラリンピックを 直接観戦したい	2024 年 パリ	(1,133)	4.3	12.2	43.0	40.5	16.5	83.5
	2024年パリ・パラリンピックを 直接観戦したい	2022年 北京	(1,253)	3.3	12.5	45.2	39.1	15.7	84.3
		2021年 東京	(1,183)	5.7	17.5	48.0	28.8	23.2	76.8
	2020年東京・パラリンピックを 直接観戦したい	2018年 平昌	(1,264)	9.3	25.9	44.9	19.9	35.2	64.8

② 体験・ボランティア意欲

テレビやインターネット、各種 SNS でミラノ大会を観戦した人に障害者スポーツの体験ならびにボランティア参加意欲について尋ねたところ、「体験したい」が 20.6% (よく当てはまる: 4.4%/やや当てはまる: 16.2%) であった。過去の大会と比較すると、東京大会では 27.9% (よく当てはまる: 5.7%/やや当てはまる: 22.2%)、パリ大会では 23.9% (よく当てはまる: 4.0%/やや当てはまる: 19.9%) となっている一方で、ミラノ大会を含む冬季大会では 20% 前後となっており、夏季大会のほうが冬季大会と比べ体験意欲が高くなっている(図表 6)。

また、ボランティアの参加意向については、「ボランティアをしたい」が 19.8% (よく当てはまる: 4.3%/やや当てはまる: 15.5%) であった。過去の大会と比較すると、東京大会が 26.3% (よく当てはまる: 4.7%/やや当てはまる: 21.6%) となっており、他の大会と比べて若干ではあるが高い割合となっている。

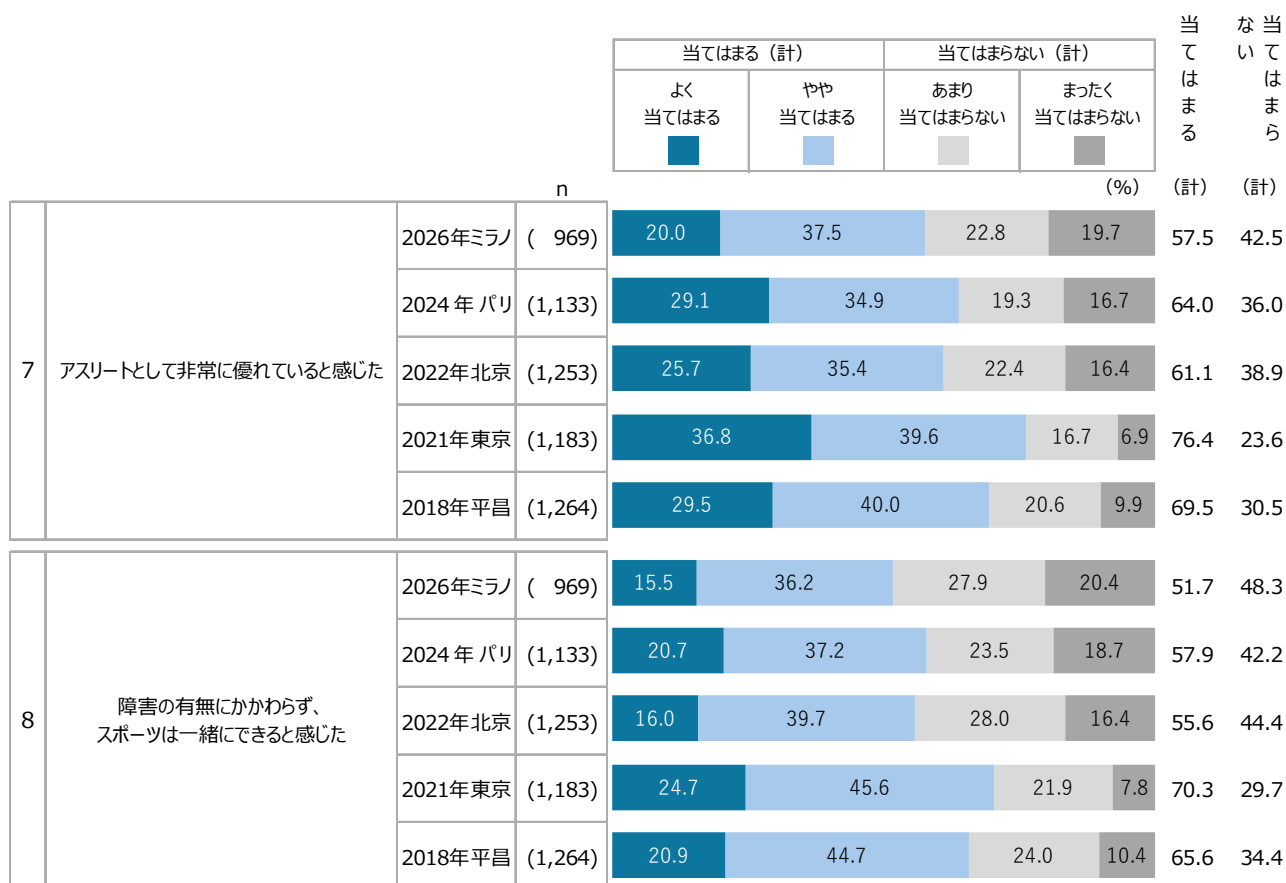
図表 6 大会観戦後の感想 2/3(体験・ボランティア意欲)



③ アスリート、障害者に対する意識

テレビやインターネット、各種 SNS でミラノ大会を観戦した人にアスリートや障害者に対する意識について尋ねたところ、「アスリートとして非常に優れていると感じた」が 57.5%（よく当てはまる：20.0%/やや当てはまる：37.5%）、「障害の有無にかかわらず、スポーツは一緒にできると感じた」が 51.7%（よく当てはまる：15.5%/やや当てはまる：36.2%）、「障害者への偏見がなくなった、身近な存在に感じた」が 50.4%（よく当てはまる：11.8%/やや当てはまる：38.6%）、「障害者と話がしたい、もっと知りたいと思った」が 34.1%（よく当てはまる：7.1%/やや当てはまる：27.0%）であった（図表 7）。過去の大会と比較すると、4 項目ともミラノ大会が最も低い割合となっている一方で、全項目において東京大会が最も高くなっており、ついで平昌大会が続く結果となった。

図表 7 大会観戦後の感想 3/3(アスリート、障害者に対する意識)



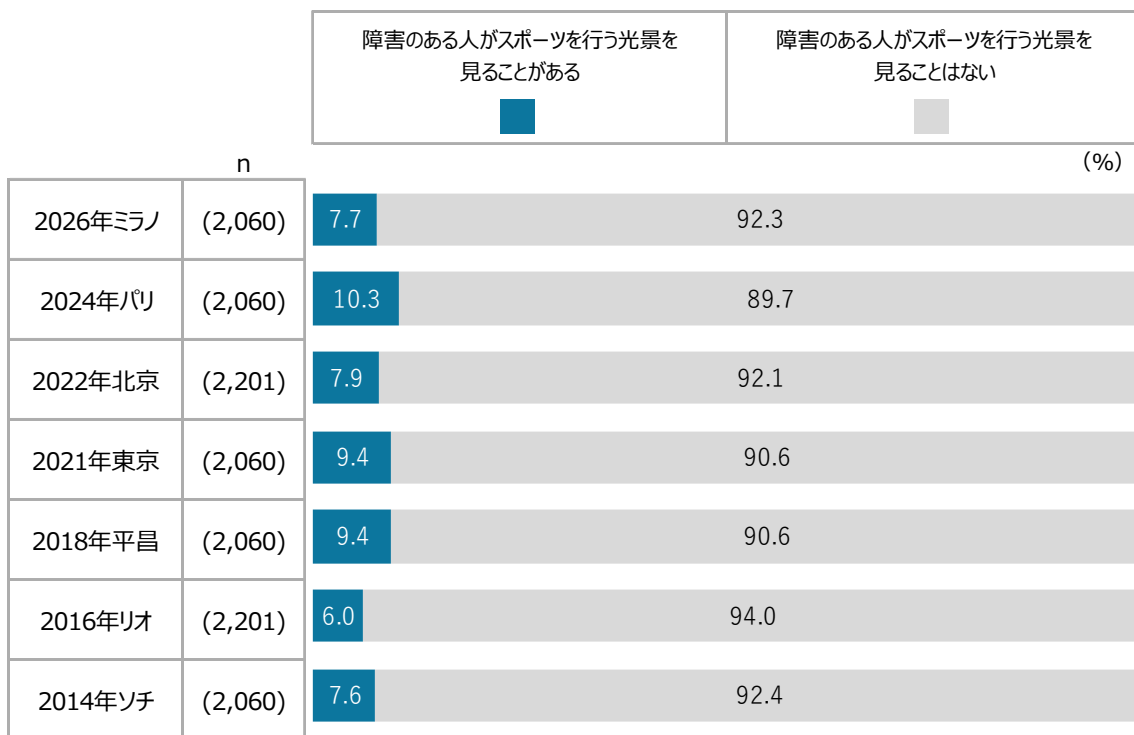
				当てはまる（計）		当てはまらない（計）		当 て は ま る (計)	な い て は ま ら (計)
				よく 当てはまる 	やや 当てはまる 	あまり 当てはまらない 	まったく 当てはまらない 		
n				(%)					
9	障害者への偏見がなくなった、 身近な存在に感じた	2026年ミラノ	(969)	11.8	38.6	29.7	19.9	50.4	49.6
		2024 年 パリ	(1,133)	16.3	38.7	27.3	17.7	55.0	45.0
		2022年北京	(1,253)	13.4	41.8	29.1	15.7	55.2	44.8
		2021年東京	(1,183)	17.8	50.5	24.7	7.0	68.3	31.7
		2018年平昌	(1,264)	15.1	46.4	28.8	9.7	61.5	38.5
10	障害者と話がしたい、 もっと知りたいと思った	2026年ミラノ	(969)	7.1	27.0	41.1	24.8	34.1	65.9
		2024 年 パリ	(1,133)	7.9	32.7	38.7	20.6	40.6	59.3
		2022年北京	(1,253)	6.9	31.6	42.1	19.4	38.5	61.5
		2021年東京	(1,183)	11.1	35.7	43.3	10.0	46.8	53.3
		2018年平昌	(1,264)	8.2	33.9	44.9	13.1	42.1	58.0

3. 障害者スポーツとの接点

3.1 障害のある人がスポーツを行う光景

障害のある人がスポーツを行う光景を見ることがあるかを尋ねたところ、7.7%が「ある」と回答し、過去の大会と比較すると、いずれも10%前後で推移しており、大幅な変化はみられなかった(図表8)。

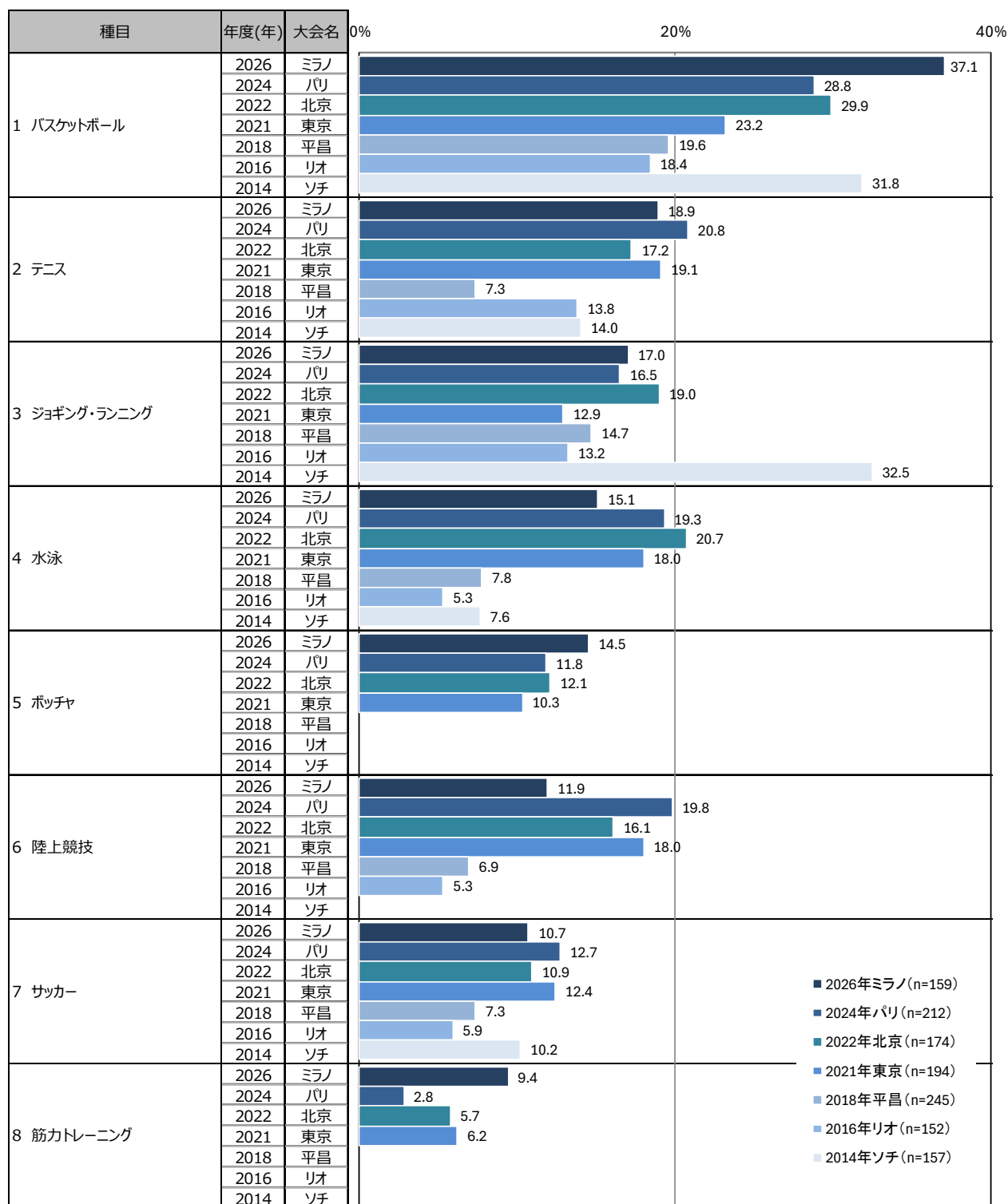
図表8 障害のある人がスポーツを行う光景



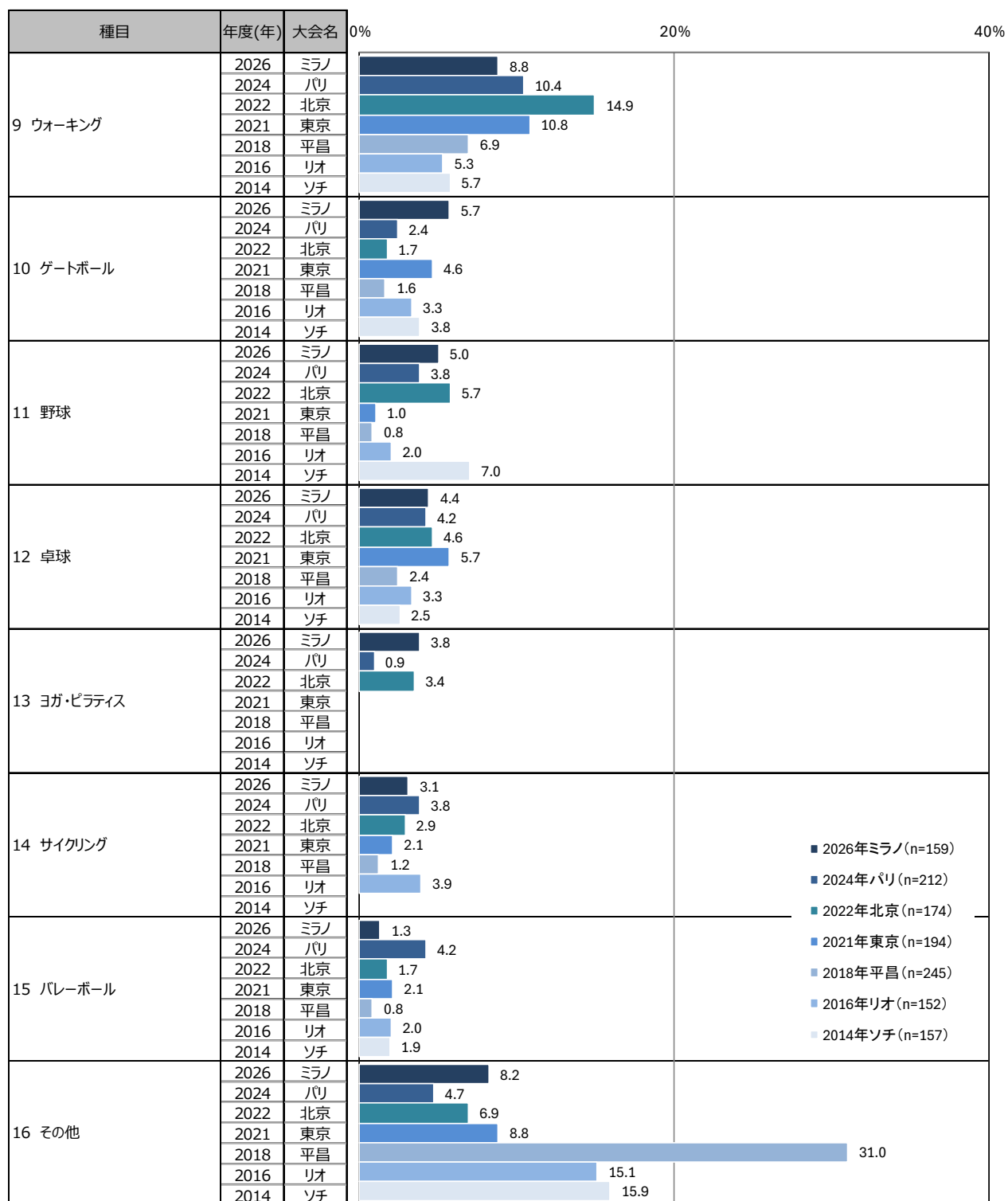
3.2 障害のある人がスポーツを行う光景で見る種目

前項で障害のある人がスポーツを行う光景を見ることが「ある」と回答した人々に、具体的な種目を尋ねたところ、「バスケットボール」(37.1%)、「テニス」(18.9%)、「ジョギング・ランニング」(17.0%)、「水泳」(15.1%)、「ボッチャ」(14.5%)が上位となっている。過去大会と比較すると、バスケットボールの割合が非常に高くなっている点が特徴的である(図表 9・図表 10)。

図表 9 障害のある人がスポーツを行う光景で見る種目 1/2(複数回答)



図表 10 障害のある人がスポーツを行う光景で見る種目 2/2(複数回答)



※2026年の選択肢の降順

※選択肢「筋力トレーニング」「ヨガ・ピラティス」「ボッチャ」は2021年～

4. クロス集計

4.1 身近に障害者がいるか否かで見えるパラリンピック観戦

回答者を、「自分自身が障害者である」、「自分以外の身近な人に障害者がいる」、「身近に障害のある人はいない」の3グループに区分し、ミラノ大会の観戦形態をグループ別に集計した。身近に障害者がいるグループでは、他のグループと比べて、「【その他の方法】特集」を除くほぼ全項目で有意に観戦割合が高いと同時に、「このジャンルは観なかった」の割合が有意に低くなっており、様々な媒体で積極的に観戦されていたことが明らかになった(図表 11)。また、自身に障害があるグループでは、「【テレビ】中継・録画」の視聴割合が他のグループと比べ有意に低く、「このジャンルは観なかった」の割合が有意に高いことが特徴的である。

図表 11 身近に障害者がいるか否かで見えるミラノ大会観戦形態

(%)

【全体との差の検定】 有意水準 高 低 1% ▲ ▼ 5% △ ▽		n	【テレビ】 中継・録画	【テレビ】 ニュース	【テレビ】 特集	【オンデマンドサービス】 （「ONDEMAND」） 中継・録画	【オンデマンドサービス】 （「ONDEMAND」） ニュース	【オンデマンドサービス】 （「ONDEMAND」） 特集	【オンデマンドサービス】 （「ONDEMAND」） 中継・録画	【国際パラリンピック委員会】 （「IPC」） 動画サイト	【国際パラリンピック委員会】 （「IPC」） 動画サイト	【国際パラリンピック委員会】 （「IPC」） 動画サイト
全体		2,060	26.3	37.0	14.7	3.2	3.5	1.8	2.2	3.5	1.8	1.8
あなたの身近に障害のある人がいますか。	自分自身が障害者である	118	▼ 15.3	28.8	12.7	2.5	2.5	1.7	-	1.7	0.8	0.8
	自分以外の身近な人に障害者がいる	331	▲ 36.6	▲ 45.6	▲ 21.1	▲ 6.3	▲ 7.9	△ 3.6	▲ 4.5	△ 6.0	▲ 3.9	▲ 3.9
	身近に障害のある人はいない	1,632	24.9	35.7	13.6	2.6	2.8	1.5	1.8	3.1	1.5	1.5

【全体との差の検定】 有意水準 高 低 1% ▲ ▼ 5% △ ▽		n	【その他の動画サイト】 （「YouTube」） 中継・録画	【その他の動画サイト】 （「YouTube」） ニュース	【その他の動画サイト】 （「YouTube」） 特集	【その他の動画サイト】 （「YouTube」） 中継・録画	【その他の動画サイト】 （「YouTube」） ニュース	【その他の動画サイト】 （「YouTube」） 特集	【その他の方法】 中継・録画	【その他の方法】 ニュース	【その他の方法】 特集	このジャンルは観なかった
全体		2,060	-	6.7	3.7	-	7.5	3.4	-	2.2	1.2	53.0
あなたの身近に障害のある人がいますか。	自分自身が障害者である	118	-	4.2	0.8	-	▼ 2.5	2.5	-	1.7	1.7	△ 64.4
	自分以外の身近な人に障害者がいる	331	-	▲ 10.6	▲ 6.9	-	▲ 13.6	▲ 6.6	-	▲ 5.7	2.1	▼ 39.6
	身近に障害のある人はいない	1,632	-	6.1	3.2	-	6.6	2.9	-	▽ 1.5	0.9	55.0

4.2 身近に障害者がいるか否かで見える観戦後の感想

① 観戦意欲

回答者を、「自分自身が障害者である」、「自分以外の身近な人に障害者がいる」、「身近に障害のある人はいない」の3グループに区分し、ミラノ大会観戦後の障害者スポーツの各種観戦意欲をグループ別に集計した(図表12)。身近に障害者がいるグループでは、他のグループと比べて直接、間接ともに観戦意欲が有意に高く、今後のパラリンピックの直接観戦意欲も高い傾向がみられた。また、自身に障害があるグループでは、障害者スポーツの直接観戦、パラリンピックの直接観戦において、「まったく当てはまらない」の割合が有意に高く、特に直接観戦において消極性がみられた。

図表12 身近に障害者がいるか否かで見える観戦後の感想 1/3(観戦意欲)

【全体との差の検定】 有意水準 高 低 1% ▲ ▼ 5% △ ▽		全体	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない
障害者スポーツ(パラスポーツ)をテレビやインターネットで観戦したい	全体	969	8.5	28.9	38.9	23.7
	自分自身が障害者である	42	14.3	23.8	26.2	35.7
	自分以外の身近な人に障害者がいる	200	▲ 15.5	△ 37.0	▼ 29.5	18.0
	身近に障害のある人はいない	734	▽ 6.4	26.8	42.0	24.8
障害者スポーツ(パラスポーツ)を直接観戦したい	全体	969	4.6	19.8	44.5	31.1
	自分自身が障害者である	42	2.4	14.3	▽ 28.6	▲ 54.8
	自分以外の身近な人に障害者がいる	200	▲ 10.5	▲ 29.0	39.0	▼ 21.5
	身近に障害のある人はいない	734	3.3	17.6	46.5	32.7
2028年ロサンゼルス、2030年フランス・アルプス・パラリンピックを直接観戦したい	全体	969	4.3	18.0	41.1	36.6
	自分自身が障害者である	42	7.1	16.7	▼ 21.4	△ 54.8
	自分以外の身近な人に障害者がいる	200	6.5	▲ 25.0	36.0	32.5
	身近に障害のある人はいない	734	3.7	16.1	43.2	37.1

② 体験・ボランティア意欲

回答者を、「自分自身が障害者である」、「自分以外の身近な人に障害者がいる」、「身近に障害のある人はいない」の3グループに区分し、ミラノ大会観戦後の障害者スポーツ体験、ボランティアの参加意欲をグループ別に集計した(図表13)。身近に障害者がいるグループでは、他のグループと比べて障害者スポーツ体験、ボランティアともに参加意欲が有意に高く、今後のパラリンピックのボランティアについても参加意欲が高い傾向がみられた。また、自身に障害があるグループでは、障害者スポーツのボランティア、パラリンピックのボランティア参加とともに、「まったく当てはまらない」の割合が有意に高く、他のグループと比べ消極性がみられ、体験についても76.2%が消極的な回答をしていた。

図表13 身近に障害者がいるか否かで見る観戦後の感想 2/3(体験・ボランティア意欲)

【全体との差の検定】 有意水準 高 低 1% ▲ ▼ 5% △ ▽		全体	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない
障害者スポーツ(パラスポーツ)を体験したい	全体	969	4.4	16.2	42.9	36.4
	自分自身が障害者である	42	4.8	19.0	▽ 26.2	50.0
	自分以外の身近な人に障害者がいる	200	▲ 8.5	▲ 24.0	40.0	▼ 27.5
	身近に障害のある人はいない	734	3.4	13.9	44.3	38.4
障害者スポーツ(パラスポーツ)のボランティアをしたい	全体	969	4.3	15.5	43.3	36.8
	自分自身が障害者である	42	2.4	4.8	38.1	△ 54.8
	自分以外の身近な人に障害者がいる	200	▲ 10.0	▲ 23.5	40.0	▼ 26.5
	身近に障害のある人はいない	734	3.0	13.8	44.4	38.8
2028年ロサンゼルス、2030年フランス・アルプス・パラリンピックにボランティアとしてかわりたい	全体	969	3.4	13.5	41.1	42.0
	自分自身が障害者である	42	4.8	4.8	▽ 26.2	▲ 64.3
	自分以外の身近な人に障害者がいる	200	5.5	▲ 20.5	39.5	▽ 34.5
	身近に障害のある人はいない	734	2.9	12.0	42.1	43.1

③ アスリート、障害者に対する意識

回答者を、「自分自身が障害者である」、「自分以外の身近な人に障害者がいる」、「身近に障害のある人はいない」の3グループに区分し、ミラノ大会観戦後のアスリート、障害者に対する意識をグループ別に集計した。身近に障害者がいるグループでは、4項目すべてで「よく当てはまる」の割合が有意に高く、アスリート、障害者に対してより肯定的な意識をもっていることが明らかになった(図表14)。

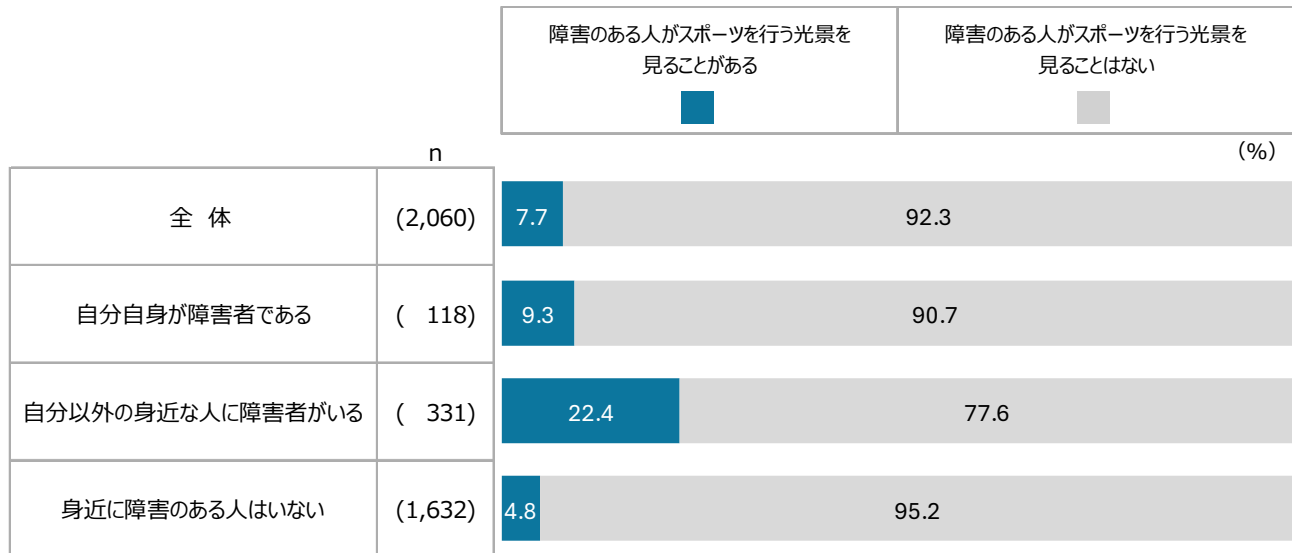
図表14 身近に障害者がいるか否かで見る観戦後の感想3/3(アスリート、障害者に対する意識)

【全体との差の検定】 有意水準 高 低 1% ▲ ▼ 5% △ ▽		全体	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない
アスリートとして非常に優れていると感じた	全体	969	20.0	37.5	22.8	19.7
	自分自身が障害者である	42	23.8	26.2	19.0	31.0
	自分以外の身近な人に障害者がいる	200	▲ 28.0	42.5	17.0	▽ 12.5
	身近に障害のある人はいない	734	17.7	36.6	24.4	21.3
障害の有無にかかわらず、スポーツは一緒にできると感じた	全体	969	15.5	36.2	27.9	20.4
	自分自身が障害者である	42	19.0	33.3	28.6	19.0
	自分以外の身近な人に障害者がいる	200	▲ 24.0	42.5	▽ 20.5	▼ 13.0
	身近に障害のある人はいない	734	13.1	34.6	29.6	22.8
障害者への偏見がなくなった、身近な存在に感じた	全体	969	11.8	38.6	29.7	19.9
	自分自身が障害者である	42	16.7	31.0	33.3	19.0
	自分以外の身近な人に障害者がいる	200	▲ 20.0	▲ 47.5	▼ 21.0	▼ 11.5
	身近に障害のある人はいない	734	▽ 9.4	36.8	31.6	22.2
障害者と話したい、もっと知りたいと思った	全体	969	7.1	27.0	41.1	24.8
	自分自身が障害者である	42	9.5	28.6	33.3	28.6
	自分以外の身近な人に障害者がいる	200	▲ 16.5	▲ 36.0	▽ 33.0	▼ 14.5
	身近に障害のある人はいない	734	▼ 4.6	24.4	43.5	27.5

4.3 身近に障害者がいるか否かで見える障害のある人のスポーツを行う光景

回答者を、「自分自身が障害者である」、「自分以外の身近な人に障害者がいる」、「身近に障害のある人はいない」の3グループに区分し、障害のある人がスポーツを行う光景を見るか否かについて集計した。身近に障害者がいるグループでは、22.4%が「見ることもある」と回答しており、他の2グループと比べて非常に高い割合となっていた(図表15)。

図表 15 身近に障害者がいるか否かで見える障害のある人がスポーツを行う光景を見ることの有無



4.4 日常生活で障害のある人がスポーツを行う光景を見ることの有無別に見る観戦

回答者を、日常生活で障害のある人がスポーツを行う光景を見ることがあるか否かで2グループに区分し、ミラノ大会の観戦形態をグループ別に集計した。「障害のある人がスポーツを行う光景を見ることがある」グループが、テレビやインターネット、各種 SNS すべての項目において有意に視聴割合が高く、「見ることがない」グループと比べ視聴状況に大きな差がみられた(図表 16)。

図表 16 日常生活の中で障害のある人がスポーツを行う光景を見ることの有無別に見るミラノ大会の観戦形態

		(%)										
		n	【テレビ】 中継・録画	【テレビ】 ニュース	【テレビ】 特集	【オンデマンド】 中継・録画	【オンデマンド】 ニュース	【オンデマンド】 特集	【オンデマンド】 ニュース	【国際パラリンピック 委員会】 中継・録画	【国際パラリンピック 委員会】 ニュース	【国際パラリンピック 委員会】 特集
【全体との差の検定】												
有意水準	高	低										
1%	▲	▼										
5%	△	▽										
全体		2,060	26.3	37.0	14.7	3.2	3.5	1.8	2.2	3.5	1.8	
あなたは日常生活の中で、 障害のある人がスポーツを行う 光景を見ることがありますか。	ある	159	▲ 52.2	△ 45.3	▲ 30.8	▲ 13.2	▲ 18.9	▲ 5.7	▲ 8.8	▲ 15.7	▲ 8.2	
	ない	1,901	▽ 24.1	36.3	13.3	▽ 2.3	▼ 2.3	1.5	1.6	▽ 2.5	1.3	

		n	【その他の方法】 中継・録画	【その他の方法】 ニュース	【その他の方法】 特集	【その他の方法】 中継・録画	【その他の方法】 ニュース	【その他の方法】 特集	このジャンルは観 なかつた
【全体との差の検定】									
有意水準	高	低							
1%	▲	▼							
5%	△	▽							
全体		2,060	-	6.7	3.7	-	7.5	3.4	53.0
あなたは日常生活の中で、 障害のある人がスポーツを行う 光景を見ることがありますか。	ある	159	-	▲ 19.5	▲ 14.5	-	▲ 19.5	▲ 12.6	▼ 27.7
	ない	1,901	-	5.7	▽ 2.8	-	6.5	2.7	55.1

5. まとめと考察

前述のパラリンピアン認知度やミラノ大会の視聴状況、大会視聴の感想等を総括するにあたり、まずはその背景にあるテレビ放送量を概説していく。

YMFS「テレビメディアによる障害者スポーツ情報発信環境調査」(2026)によれば、ミラノ大会の地上波テレビ放送量は35時間45分49秒となっており、2022年北京大会比で半減し、2010年バンクーバー大会と同規模に減少している。2013年の東京オリンピック・パラリンピック招致決定後、2014年のソチ大会、2018年の平昌大会とテレビ放送量は増加していったが、東京大会終了後の翌2022年に開催された北京大会では減少に転じ、ミラノ大会では平昌大会比で約30%の放送量となった。このような結果について、上記報告内では、ヨーロッパでの開催による日本との時差、獲得メダル数の減少等が指摘されており、パラリンピックが他のスポーツや他のカテゴリーの番組を凌駕して注目されるものとはなっておらず、「(2021年の東京パラリンピックが)国内開催という特殊事情によって一時的に注目を浴びたに過ぎなかったことを示している」と述べられている。

以上の前提のもと、パラリンピアン認知度についてみていくと、前回北京大会(冬)の上位10選手のうち、1位であった「村岡桃佳(アルペンスキー)」が、ミラノ大会でも引き続き1位となっているが、認知度が北京大会の11.6%から5.9%へと低下し、競技の正答率についても46.9%から36.4%へと低下していた。村岡選手は平昌大会で5個(金1個・銀2個・銅2個)、北京大会(冬)で4個(金3個・銀1個)のメダルを獲得し、ミラノ大会でもさらなる活躍が期待されていたが、大会前の怪我の影響で出場が危ぶまれる中で、銀メダル2個の獲得にとどまった。同選手の総放送量(開催前・開催中・開催後の合計)は5時間59分18秒で全出場選手中3位にとどまり、露出の減少が認知度や競技正答率の低下につながったものと推察される。なお、今大会の総放送量1位は「小須田潤太(スノーボード)」(8時間04分45秒)、2位は「小川亜希(車いすカーリング)」(6時間38分56秒)となっており、両選手とも大会の旗手を務めたことで注目されたものと考えられるが、認知度についてはいずれも上位ではなかった。

以上のパラリンピアン認知度の変化について、本調査結果のみで詳述することはできないが、パラリンピック期間の一時的なテレビ放送量のみならず、日常的かつ継続的な露出も含めて考えなければならぬのではないだろうか。本調査において村岡選手の認知度が半減し、北京大会2位の岡本圭司選手とほぼ同率となったが、正答率をみると村岡選手が最も高くなっており、「村岡桃佳＝アルペンスキー」という選手と競技の一致度は最も高く、他の選手と比べ「実質的な認知」は高いといえる。総放送量3位でありながらこのような結果となった理由としては、過去のパラリンピックを含めた継続的なメディア露出が関わっているのではないだろうか。前述のように平昌大会、北京大会で多数のメダルを獲得すると同時に、2021年の東京大会には陸上競技で出場し、「二刀流選手」として注目され、ミラノ大会では全体の放送量が減少したことから、認知度は低下したものの一定の正答率が保たれたのは、これまでの露出が影響しているものと考えられる。今回のテレビ放送量上位の選手が、必ずしも認知度上位ではなかったという状況も鑑みれば、パラリンピアン認知はパラリンピック開催時の報道のみならず、それ以前の期間も含む継続的な露出が影響していると推察される。

また、パラリンピックの観戦状況について、本調査では53.0%が「このジャンルは観なかった」と回答しており、平昌大会:38.6%、北京大会:43.1%と非観戦者の割合が増加している。放送量が減少すると同時に観戦者の割合が低下していることから、今大会の視聴がパラリンピアン認知に与える影響は、過去の大会と比較してより低減しているものと推察される。

他方、パラリンピック観戦後の障害者スポーツ観戦や体験・ボランティアの参加については、「身近に障

害者がいる」人々が意欲的であると同時に、障害者・アスリートに対するイメージが肯定的であり、日常的に障害者と接点がある、もしくは障害に関わる事象に触れている人ほど、パラリンピックの視聴により大きな影響を受けていることが明らかになった。その一方で、「自分自身が障害者である」と回答した人々は、他の2グループ(≡健常者グループ)と比べて観戦や体験、ボランティア参加に対する意欲が高まっておらず、対照的な結果となっている。このような傾向は、2012年のロンドン大会後の調査でも同様にみられた。朝日新聞(2017年8月25日朝刊19ページ)は大会後の各種調査結果を報じており、障害者を対象とした民間団体調査によれば79%の人々が「スポーツに取り組みたいとは感じなかった」と回答している一方で、イギリス政府の一般市民を対象とした調査によれば、81%の人々が大会は障害者の評価にポジティブな影響を与えたと評価していたという。以上の障害者、健常者の対照的な評価に対して、同紙では「高度な運動能力を持つパラリンピック選手とそうでない障害者との間に、隔たりが生じている」と指摘されており、神奈川新聞(2019年8月30日：

<https://www.kanaloco.jp/news/social/entry-191698.html>/2026年7月29日閲覧)では、同調査結果について、コベントリー大のイアン・ブリテン氏が『「障害は乗り越えるべきもの」とするパラアスリートの能力主義が浸透し、一般の障害者が負い目を感じてしまった。」可能性について言及している。

以上の議論を踏まえると、各種パラリンピック報道に触れることで、障害者やパラアスリートに対する肯定的な意識変化や行動変容が一律に生じるわけではなく、特に一般の障害者にとっては、「パラリンピアンは自分とは『違う存在』」と認識し、健常者とは異なる認知をする可能性がある」と指摘できる。本調査では障害のある回答者が少数のため障害の有無による詳細な分析をすることは叶わないが、パラリンピアンならびに障害者スポーツの認知や理解について検討するには、「誰の」認知・理解なのかといった視点も重要なのではないだろうか。

東京大会開催から5年が経過し、冬季パラリンピックの報道量は平昌大会を頂点として縮小し、今回のミラノ大会では大幅に減少していることから、「東京パラリンピック特需」が終了し、パラリンピックを含めた障害者スポーツ関連の報道体制が「平時」に戻ったと指摘することができよう。パラリンピアンならびに障害者スポーツ全般の認知を高めていくためには、言うまでもなく各種メディアの報道量の増加が不可欠である。そのためには、冒頭で挙げたテレビ放送量調査でも述べられているとおり、世界レベルのアスリートを輩出するための競技力強化が必要となるが、それだけではなく地道な取り組みとなるが、障害のある人々が地域で運動・スポーツをすることができる環境を整備し、日常的な光景としていくことによって認知が広がっていくのではないだろうか。

2028年にはロサンゼルスパラリンピックが控えているが、今回のミラノ大会と同様に海外での開催となり、日本との時差が生じる環境となるが、どのような報道体制が敷かれ、それに伴う各種認知はどのように広がっていくのであろうか。引き続き注目していきたい。

・執筆者紹介

(ヤマハ発動機スポーツ振興財団障害者スポーツ・プロジェクトメンバー)

河西 正博

同志社大学スポーツ健康科学部 准教授

附録 1

パラリンピアンに対する社会的認知度調査 調査票

Q1. あなたは、以下に示す人物について知っていますか？(それぞれ1つずつ選択)

ココに回答→	知っている	聞いたことがある	知らない
阿部 友里香(あべ ゆりか)	☐	☐	☐
有安 諒平(ありやす りょうへい)	☐	☐	☐
石川 雄大(いしかわ ゆうだい)	☐	☐	☐
市川 貴仁(いちかわ たかひと)	☐	☐	☐
伊藤 樹(いとう いつき)	☐	☐	☐
岩本 啓吾(いわもと けいご)	☐	☐	☐
岩本 美歌(いわもと みか)	☐	☐	☐
鵜飼 祥生(うかい しょうせい)	☐	☐	☐
後田 風吹(うしろだ ふぶき)	☐	☐	☐
大岩根 正隆(おおいわね まさたか)	☐	☐	☐
岡部 学(おかべ まなぶ)	☐	☐	☐
岡本 圭司(おかもと けいじ)	☐	☐	☐
小川 亜希(おがわ あき)	☐	☐	☐
小栗 大地(おぐり だいち)	☐	☐	☐
金子 幹央(かねこ みきお)	☐	☐	☐
河原 優星(かわはら ゆうせい)	☐	☐	☐
川除 大輝(かわよけ たいき)	☐	☐	☐
能谷 昌治(くまがい まさはる)	☐	☐	☐
小池 岳太(こいけ ぐた)	☐	☐	☐
小須田 潤太(こすだ じゅんた)	☐	☐	☐
坂下 恵里(さかした えり)	☐	☐	☐
佐藤 圭一(さとう けいいち)	☐	☐	☐
佐藤 那奈(さとう なな)	☐	☐	☐
塩谷 吉寛(しおや よしひろ)	☐	☐	☐
鈴木 猛史(すずき たけし)	☐	☐	☐
須藤 悟(すどう さとる)	☐	☐	☐
出来島 桃子(できじま ももこ)	☐	☐	☐
中島 洋治(なかじま ようじ)	☐	☐	☐
中村 俊介(なかむら しゅんすけ)	☐	☐	☐
那須 智彦(なす のりひこ)	☐	☐	☐
新津 和良(にいつ かずよし)	☐	☐	☐
新田 佳浩(にった よしひろ)	☐	☐	☐
福西 朱莉(ふくにし あかり)	☐	☐	☐
本堂 杏実(ほんどう あんみ)	☐	☐	☐
堀江 航(ほりえ わたる)	☐	☐	☐
松下 真大(まつした まさひろ)	☐	☐	☐
松土 琴葉(まつど ことば)	☐	☐	☐
三澤 英司(みさわ えいじ)	☐	☐	☐
源 貴晴(みなもと たかはる)	☐	☐	☐
村岡 桃佳(むらおか ももか)	☐	☐	☐
森井 大輝(もりい たいき)	☐	☐	☐
森崎 天夢(もりさき あむ)	☐	☐	☐
森 宏明(もり ひろあき)	☐	☐	☐
吉川 守(よしかわ まもる)	☐	☐	☐

Q2. Q1 であげた人は、ミラノ・コルティナパラリンピックに出場した選手です。「知っている」「聞いたことがある」と回答された選手の実施競技についてお答えください。(それぞれ1つずつ選択)

ココに回答→	スノーボード	アルペンスキー	クロスカントリースキー ノバイアスロン	アイスホッケー	車いすカーリング	わからない
阿部 友里香(あべ ゆりか)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
有安 諒平(ありやす りょうへい)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
石川 雄大(いしかわ ゆうだい)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
市川 貴仁(いちかわ たかひと)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
伊藤 樹(いとう いつき)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
岩本 啓吾(いわもと けいご)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
岩本 美歌(いわもと みか)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
鶴飼 祥生(うかい しょうせい)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
後田 風吹(うしろだ ふうき)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
大岩根 正隆(おおいわね まさたか)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
岡部 学(おかべ まなぶ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
岡本 圭司(おかもと けいじ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小川 亜希(おがわ あき)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小栗 大地(おぐり だいち)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
金子 幹央(かねこ みきお)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
河原 優星(かわはら ゆうせい)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
川除 大輝(かわよけ たいき)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
館谷 昌治(くまがい まさはる)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小池 岳太(こいけ がつた)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
小須田 潤太(こすだ じゅんた)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
坂下 恵里(さかした えり)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
佐藤 圭一(さとう けいいち)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
佐藤 那奈(さとう なな)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
塩谷 吉寛(しおや よしひろ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
鈴木 猛史(すずき たけし)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
須藤 悟(すどう さとる)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
出来島 桃子(できじま ももこ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
中島 洋治(なかじま ようじ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
中村 俊介(なかむら しゅんすけ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
那須 智彦(なす のりひこ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
新津 和良(にいつ かずよし)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
新田 佳浩(にった よしひろ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
福西 朱莉(ふくに し あかり)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
本堂 杏実(ほんどう あんみ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
堀江 航(ほりえ わたる)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
松下 真大(まつした まさひろ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
松土 琴葉(まつど ことば)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
三澤 英司(みさわ えいじ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
源 貴晴(みなもと たかはる)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
村岡 桃佳(むらおか ももか)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
森井 大輝(もりい たいき)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
森崎 天夢(もりさき あむ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
森 宏明(もり ひろあき)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
吉川 守(よしかわ まもる)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q3. あなたは、以下のメディアでミラノ・コルティナパラリンピックを観ましたか。観た場合、そのジャンルもあわせてお答えください。(それぞれ複数選択可)

※(4)(5)(6)の設問は「中継・録画」以外の選択肢から選んでください。

	中継・録画	ニュース	特集	このジャンルは観なかった
ココに回答→				
(1) テレビ	☐	☐	☐	☐
(2) オンデマンドサービス(NHKプラス～NHK ONE～、TVer等)	☐	☐	☐	☐
(3) 国際パラリンピック委員会 (IPC) 動画サイト (YouTube)	☐	☐	☐	☐
(4) その他の動画サイト (YouTube、ニコニコ動画等)	-	☐	☐	☐
(5) SNS (Facebook、X (Twitter)、TikTok、Instagram等)	-	☐	☐	☐
(6) その他の方法	-	☐	☐	☐

Q4. あなたが、テレビやインターネット動画で観戦したミラノ・コルティナパラリンピック競技は何ですか。(複数選択可)※「観戦した」番組には、中継番組、ニュース番組、特集番組を含みます。

- ☐ スノーボード
- ☐ アルペンスキー
- ☐ クロスカントリースキー
- ☐ バイアスロン
- ☐ アイスホッケー
- ☐ 車いすカーリング
- ☐ 開会式
- ☐ 閉会式
- ☐ わからない

Q5. ミラノ・コルティナパラリンピックをテレビやインターネットで観戦して、どう思いましたか。
(それぞれ1つずつ選択)

ヨコに回答→	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない
障害者スポーツ(パラスポーツ)をテレビやインターネットで観戦したい	☐	☐	☐	☐
障害者スポーツ(パラスポーツ)を直接観戦したい	☐	☐	☐	☐
2028年ロサンゼルス、2030年フランス・アルプス・パラリンピックを直接観戦したい	☐	☐	☐	☐
障害者スポーツ(パラスポーツ)を体験したい	☐	☐	☐	☐
障害者スポーツ(パラスポーツ)のボランティアをしたい	☐	☐	☐	☐
2028年ロサンゼルス、2030年フランス・アルプス・パラリンピックにボランティアとしてかかわりたい	☐	☐	☐	☐
アスリートとして非常に優れていると感じた	☐	☐	☐	☐
障害の有無にかかわらず、スポーツは一緒にできると感じた	☐	☐	☐	☐
障害者への偏見がなくなった、身近な存在に感じた	☐	☐	☐	☐
障害者と話がしたい、もっと知りたいと思った	☐	☐	☐	☐

Q6. あなたは日常生活の中で、障害のある人がスポーツを行う光景を見ることがありますか。(1つ選択)

- ☐ ある
- ☐ ない

Q7. あなたが日常生活の中で見る、障害のある人が行っているスポーツの種目をお選びください。複数ある場合は、主なものを最大 3 つまでお選びください。(3 つまで選択可)

- ☐ バスケットボール
- ☐ テニス
- ☐ ジョギング・ランニング
- ☐ サッカー
- ☐ 陸上競技
- ☐ 水泳
- ☐ ウォーキング
- ☐ サイクリング
- ☐ ゲートボール
- ☐ 卓球
- ☐ 野球
- ☐ バレーボール
- ☐ ボッチャ
- ☐ 筋力トレーニング
- ☐ ヨガ・ピラティス
- ☐ その他

Q8. あなたの身近に障害のある人がいますか。(複数選択可)

- ☐ 自分自身が障害者である
- ☐ 親族に障害のある人がいる
- ☐ 職場に障害のある人がいる
- ☐ 友人・知人に障害のある人がいる
- ☐ 身近に障害のある人はいない

附録 2

パラリンピアンに対する社会的認知度調査 集計表

Q1. あなたは、以下に示す人物について知っていますか？(それぞれ1つずつ選択)

こちらの設問は、5 頁に記載の通り、調査結果の中に不確かな部分があったので、集計表は削除しております。

Q2. Q1であげた人は、ミラノ・コルティナパラリンピックに出場した選手です。
「知っている」「聞いたことがある」と回答された選手の実施競技についてお答えください。(それぞれ1つずつ選択)

Q2-1. 阿部 友里香(あべ ゆりか)	度数	%
スノーボード	17	15.9
アルペンスキー	18	16.8
クロスカントリースキー／バイアスロン	18	16.8
アイスホッケー	4	3.7
車いすカーリング	4	3.7
わからない	46	43.0
集計母数	107	100.0

Q2-2. 有安 諒平(ありやす りょうへい)	度数	%
スノーボード	9	9.6
アルペンスキー	20	21.3
クロスカントリースキー／バイアスロン	12	12.8
アイスホッケー	3	3.2
車いすカーリング	4	4.3
わからない	46	48.9
集計母数	94	100.0

Q2-3. 石川 雄大(いしかわ ゆうだい)	度数	%
スノーボード	9	4.2
アルペンスキー	19	9.0
クロスカントリースキー／バイアスロン	16	7.5
アイスホッケー	21	9.9
車いすカーリング	2	0.9
わからない	145	68.4
集計母数	212	100.0

Q2-4. 市川 貴仁(いちかわ たかひと)	度数	%
スノーボード	7	9.6
アルペンスキー	13	17.8
クロスカントリースキー／バイアスロン	10	13.7
アイスホッケー	8	11.0
車いすカーリング	3	4.1
わからない	32	43.8
集計母数	73	100.0

Q2-5. 伊藤 樹(いとう いつき)	度数	%
スノーボード	5	5.1
アルペンスキー	9	9.1
クロスカントリースキー／バイアスロン	7	7.1
アイスホッケー	11	11.1
車いすカーリング	11	11.1
わからない	56	56.6
集計母数	99	100.0

Q2-6. 岩本 啓吾(いわもと けいご)	度数	%
スノーボード	2	2.5
アルペンスキー	9	11.4
クロスカントリースキー／バイアスロン	10	12.7
アイスホッケー	7	8.9
車いすカーリング	11	13.9
わからない	40	50.6
集計母数	79	100.0

Q2-7. 岩本 美歌(いわもと みか)	度数	%
スノーボード	6	8.3
アルペンスキー	10	13.9
クロスカントリースキー／バイアスロン	15	20.8
アイスホッケー	7	9.7
車いすカーリング	5	6.9
わからない	29	40.3
集計母数	72	100.0

Q2-8. 鵜飼 祥生(うかい しょうせい)	度数	%
スノーボード	5	6.4
アルペンスキー	12	15.4
クロスカントリースキー／バイアスロン	9	11.5
アイスホッケー	10	12.8
車いすカーリング	1	1.3
わからない	41	52.6
集計母数	78	100.0

Q2-9. 後田 風吹(うしろだ ふぶき)	度数	%
スノーボード	9	13.6
アルペンスキー	7	10.6
クロスカントリースキー／バイアスロン	13	19.7
アイスホッケー	7	10.6
車いすカーリング	4	6.1
わからない	26	39.4
集計母数	66	100.0

Q2-10. 大岩根 正隆(おおいわね まさたか)	度数	%
スノーボード	6	9.8
アルペンスキー	12	19.7
クロスカントリースキー／バイアスロン	8	13.1
アイスホッケー	7	11.5
車いすカーリング	1	1.6
わからない	27	44.3
集計母数	61	100.0

Q2-11. 岡部 学(おかべ まなぶ)	度数	%
スノーボード	11	6.3
アルペンスキー	16	9.1
クロスカントリースキー／バイアスロン	15	8.6
アイスホッケー	16	9.1
車いすカーリング	1	0.6
わからない	116	66.3
集計母数	175	100.0

Q2. Q1であげた人は、ミラノ・コルティナパラリンピックに出場した選手です。
「知っている」「聞いたことがある」と回答された選手の実施競技についてお答えください。（それぞれ1つずつ選択）

Q2-12. 岡本 圭司(おかもと けいじ)	度数	%
スノーボード	12	10.0
アルペンスキー	9	7.5
クロスカントリースキー／バイアスロン	14	11.7
アイスホッケー	6	5.0
車いすカーリング	1	0.8
わからない	78	65.0
集計母数	120	100.0

Q2-13. 小川 亜希(おがわ あき)	度数	%
スノーボード	7	10.4
アルペンスキー	11	16.4
クロスカントリースキー／バイアスロン	11	16.4
アイスホッケー	3	4.5
車いすカーリング	7	10.4
わからない	28	41.8
集計母数	67	100.0

Q2-14. 小栗 大地(おぐり だいち)	度数	%
スノーボード	11	13.9
アルペンスキー	8	10.1
クロスカントリースキー／バイアスロン	12	15.2
アイスホッケー	6	7.6
車いすカーリング	2	2.5
わからない	40	50.6
集計母数	79	100.0

Q2-15. 金子 幹央(かねこ みきお)	度数	%
スノーボード	2	3.2
アルペンスキー	11	17.5
クロスカントリースキー／バイアスロン	10	15.9
アイスホッケー	8	12.7
車いすカーリング	5	7.9
わからない	27	42.9
集計母数	63	100.0

Q2-16. 河原 優星(かわはら ゆうせい)	度数	%
スノーボード	7	10.4
アルペンスキー	6	9.0
クロスカントリースキー／バイアスロン	9	13.4
アイスホッケー	8	11.9
車いすカーリング	5	7.5
わからない	32	47.8
集計母数	67	100.0

Q2-17. 川除 大輝(かわよけ たいき)	度数	%
スノーボード	5	7.5
アルペンスキー	8	11.9
クロスカントリースキー／バイアスロン	21	31.3
アイスホッケー	3	4.5
車いすカーリング	2	3.0
わからない	28	41.8
集計母数	67	100.0

Q2-18. 熊谷 昌治(くまがい まさはる)	度数	%
スノーボード	5	7.7
アルペンスキー	10	15.4
クロスカントリースキー／バイアスロン	7	10.8
アイスホッケー	13	20.0
車いすカーリング	3	4.6
わからない	27	41.5
集計母数	65	100.0

Q2-19. 小池 岳太(こいけ がつた)	度数	%
スノーボード	8	12.5
アルペンスキー	9	14.1
クロスカントリースキー／バイアスロン	11	17.2
アイスホッケー	6	9.4
車いすカーリング	3	4.7
わからない	27	42.2
集計母数	64	100.0

Q2-20. 小須田 潤太(こすだ じゅんた)	度数	%
スノーボード	12	19.4
アルペンスキー	6	9.7
クロスカントリースキー／バイアスロン	10	16.1
アイスホッケー	8	12.9
車いすカーリング	3	4.8
わからない	23	37.1
集計母数	62	100.0

Q2-21. 坂下 恵里(さかした えり)	度数	%
スノーボード	15	15.3
アルペンスキー	10	10.2
クロスカントリースキー／バイアスロン	9	9.2
アイスホッケー	2	2.0
車いすカーリング	5	5.1
わからない	57	58.2
集計母数	98	100.0

Q2-22. 佐藤 圭一(さとう けいいち)	度数	%
スノーボード	9	9.1
アルペンスキー	11	11.1
クロスカントリースキー／バイアスロン	12	12.1
アイスホッケー	7	7.1
車いすカーリング	1	1.0
わからない	59	59.6
集計母数	99	100.0

Q2-Q1であげた人は、ミラノ・コルティナパラリンピックに出場した選手です。 「知っている」「聞いたことがある」と回答された選手の実施競技についてお答えください。(それぞれ1つずつ選択)		
Q2-23. 佐藤 那奈(さとう なな)	度数	%
スノーボード	6	8.5
アルペンスキー	12	16.9
クロスカントリースキー／バイアスロン	14	19.7
アイスホッケー	3	4.2
車いすカーリング	7	9.9
わからない	29	40.8
集計母数	71	100.0
Q2-24. 塩谷 吉寛(しおや よしひろ)	度数	%
スノーボード	5	9.1
アルペンスキー	9	16.4
クロスカントリースキー／バイアスロン	7	12.7
アイスホッケー	10	18.2
車いすカーリング	2	3.6
わからない	22	40.0
集計母数	55	100.0
Q2-25. 鈴木 猛史(すずき たけし)	度数	%
スノーボード	4	6.3
アルペンスキー	18	28.1
クロスカントリースキー／バイアスロン	7	10.9
アイスホッケー	6	9.4
車いすカーリング	4	6.3
わからない	25	39.1
集計母数	64	100.0
Q2-26. 須藤 悟(すどう さとる)	度数	%
スノーボード	7	11.3
アルペンスキー	8	12.9
クロスカントリースキー／バイアスロン	10	16.1
アイスホッケー	8	12.9
車いすカーリング	4	6.5
わからない	25	40.3
集計母数	62	100.0
Q2-27. 出来島 桃子(できじま ももこ)	度数	%
スノーボード	5	8.6
アルペンスキー	10	17.2
クロスカントリースキー／バイアスロン	11	19.0
アイスホッケー	4	6.9
車いすカーリング	5	8.6
わからない	23	39.7
集計母数	58	100.0
Q2-28. 中島 洋治(なかじま ようじ)	度数	%
スノーボード	6	9.8
アルペンスキー	6	9.8
クロスカントリースキー／バイアスロン	10	16.4
アイスホッケー	7	11.5
車いすカーリング	5	8.2
わからない	27	44.3
集計母数	61	100.0
Q2-29. 中村 俊介(なかむら しゅんすけ)	度数	%
スノーボード	13	2.3
アルペンスキー	11	1.9
クロスカントリースキー／バイアスロン	14	2.4
アイスホッケー	24	4.2
車いすカーリング	5	0.9
わからない	505	88.3
集計母数	572	100.0
Q2-30. 那須 智彦(なす のりひこ)	度数	%
スノーボード	5	8.1
アルペンスキー	7	11.3
クロスカントリースキー／バイアスロン	10	16.1
アイスホッケー	8	12.9
車いすカーリング	2	3.2
わからない	30	48.4
集計母数	62	100.0
Q2-31. 新津 和良(にいづ かずよし)	度数	%
スノーボード	5	9.6
アルペンスキー	7	13.5
クロスカントリースキー／バイアスロン	15	28.8
アイスホッケー	4	7.7
車いすカーリング	2	3.8
わからない	19	36.5
集計母数	52	100.0
Q2-32. 新田 佳浩(にった よしひろ)	度数	%
スノーボード	4	6.2
アルペンスキー	13	20.0
クロスカントリースキー／バイアスロン	16	24.6
アイスホッケー	5	7.7
車いすカーリング	2	3.1
わからない	25	38.5
集計母数	65	100.0
Q2-33. 福西 朱莉(ふくにし あかり)	度数	%
スノーボード	7	10.8
アルペンスキー	7	10.8
クロスカントリースキー／バイアスロン	9	13.8
アイスホッケー	9	13.8
車いすカーリング	1	1.5
わからない	32	49.2
集計母数	65	100.0

Q2-Q1であげた人は、ミラノ・コルティナパラリンピックに出場した選手です。「知っている」「聞いたことがある」と回答された選手の実施競技についてお答えください。(それぞれ1つずつ選択)		
Q2-34. 本堂 杏実(ほんどう あんみ)	度数	%
スノーボード	7	11.1
アルペンスキー	13	20.6
クロスカントリースキー／バイアスロン	9	14.3
アイスホッケー	8	12.7
車いすカーリング	2	3.2
わからない	24	38.1
集計母数	63	100.0
Q2-35. 堀江 航(ほりえ わたる)	度数	%
スノーボード	7	9.2
アルペンスキー	9	11.8
クロスカントリースキー／バイアスロン	10	13.2
アイスホッケー	8	10.5
車いすカーリング	4	5.3
わからない	38	50.0
集計母数	76	100.0
Q2-36. 松下 真大(まつした まさひろ)	度数	%
スノーボード	5	7.2
アルペンスキー	8	11.6
クロスカントリースキー／バイアスロン	8	11.6
アイスホッケー	8	11.6
車いすカーリング	4	5.8
わからない	36	52.2
集計母数	69	100.0
Q2-37. 松土 琴葉(まつど ことば)	度数	%
スノーボード	6	10.0
アルペンスキー	8	13.3
クロスカントリースキー／バイアスロン	11	18.3
アイスホッケー	9	15.0
車いすカーリング	2	3.3
わからない	24	40.0
集計母数	60	100.0
Q2-38. 三澤 英司(みさわ えいじ)	度数	%
スノーボード	5	7.9
アルペンスキー	7	11.1
クロスカントリースキー／バイアスロン	8	12.7
アイスホッケー	7	11.1
車いすカーリング	6	9.5
わからない	30	47.6
集計母数	63	100.0
Q2-39. 源 貴晴(みなもと たかはる)	度数	%
スノーボード	4	6.8
アルペンスキー	8	13.6
クロスカントリースキー／バイアスロン	11	18.6
アイスホッケー	8	13.6
車いすカーリング	-	-
わからない	28	47.5
集計母数	59	100.0
Q2-40. 村岡 桃佳(むらおか ももか)	度数	%
スノーボード	21	17.4
アルペンスキー	44	36.4
クロスカントリースキー／バイアスロン	10	8.3
アイスホッケー	6	5.0
車いすカーリング	3	2.5
わからない	37	30.6
集計母数	121	100.0
Q2-41. 森井 大輝(もりい たいき)	度数	%
スノーボード	7	9.6
アルペンスキー	18	24.7
クロスカントリースキー／バイアスロン	12	16.4
アイスホッケー	6	8.2
車いすカーリング	3	4.1
わからない	27	37.0
集計母数	73	100.0
Q2-42. 森崎 天夢(もりさき あむ)	度数	%
スノーボード	7	10.8
アルペンスキー	11	16.9
クロスカントリースキー／バイアスロン	10	15.4
アイスホッケー	8	12.3
車いすカーリング	3	4.6
わからない	26	40.0
集計母数	65	100.0
Q2-43. 森 宏明(もり ひろあき)	度数	%
スノーボード	4	6.3
アルペンスキー	10	15.9
クロスカントリースキー／バイアスロン	16	25.4
アイスホッケー	3	4.8
車いすカーリング	-	-
わからない	30	47.6
集計母数	63	100.0
Q2-44. 吉川 守(よしかわ まもる)	度数	%
スノーボード	9	14.5
アルペンスキー	7	11.3
クロスカントリースキー／バイアスロン	12	19.4
アイスホッケー	7	11.3
車いすカーリング	-	-
わからない	27	43.5
集計母数	62	100.0

Q3. あなたは、以下のメディアでミラノ・コルティナパラリンピックを観ましたか。観た場合、そのジャンルもあわせてお答えください。(それぞれ複数選択可)※(4)(5)(6)の設問は「中継・録画」以外の選択肢から選んでください。

Q3-1. (1) テレビ	度数	%
中継・録画	542	26.3
ニュース	762	37.0
特集	302	14.7
このジャンルは観なかった	1150	55.8
集計母数	2060	100.0

Q3-2. (2) オンデマンドサービス(NHKプラス～NHK ONE～、TVer等)	度数	%
中継・録画	65	3.2
ニュース	73	3.5
特集	38	1.8
このジャンルは観なかった	1935	93.9
集計母数	2060	100.0

Q3-3. (3) 国際パラリンピック委員会(IPC)動画サイト(YouTube)	度数	%
中継・録画	45	2.2
ニュース	72	3.5
特集	38	1.8
このジャンルは観なかった	1946	94.5
集計母数	2060	100.0

Q3-4. (4) その他の動画サイト(YouTube、ニコニコ動画等)	度数	%
中継・録画	—	—
ニュース	139	6.7
特集	77	3.7
このジャンルは観なかった	1873	90.9
集計母数	2060	100.0

Q3-5. (5) SNS(Facebook、X(Twitter)、TikTok、Instagram等)	度数	%
中継・録画	—	—
ニュース	155	7.5
特集	71	3.4
このジャンルは観なかった	1869	90.7
集計母数	2060	100.0

Q3-6. (6) その他の方法	度数	%
中継・録画	—	—
ニュース	45	2.2
特集	24	1.2
このジャンルは観なかった	1997	96.9
集計母数	2060	100.0

Q4. あなたが、テレビやインターネット動画で観戦したミラノ・コルティナパラリンピック競技は何ですか。(複数選択可)	度数	%
スノーボード	406	41.9
アルペンスキー	208	21.5
クロスカントリースキー	129	13.3
バイアスロン	35	3.6
アイスホッケー	111	11.5
車いすカーリング	62	6.4
開会式	281	29.0
閉会式	146	15.1
わからない	271	28.0
集計母数	969	100.0

Q5. ミラノ・コルティナパラリンピックをテレビやインターネットで観戦して、どう思いましたか。(それぞれ1つずつ選択)		
Q5-1. 障害者スポーツ(パラスポーツ)をテレビやインターネットで観戦したい	度数	%
よく当てはまる	82	8.5
やや当てはまる	280	28.9
あまり当てはまらない	377	38.9
まったく当てはまらない	230	23.7
集計母数	969	100.0
Q5-2. 障害者スポーツ(パラスポーツ)を直接観戦したい	度数	%
よく当てはまる	45	4.6
やや当てはまる	192	19.8
あまり当てはまらない	431	44.5
まったく当てはまらない	301	31.1
集計母数	969	100.0
Q5-3. 2028年ロサンゼルス、2030年フランス・アルプス・パラリンピックを直接観戦したい	度数	%
よく当てはまる	42	4.3
やや当てはまる	174	18.0
あまり当てはまらない	398	41.1
まったく当てはまらない	355	36.6
集計母数	969	100.0
Q5-4. 障害者スポーツ(パラスポーツ)を体験したい	度数	%
よく当てはまる	43	4.4
やや当てはまる	157	16.2
あまり当てはまらない	416	42.9
まったく当てはまらない	353	36.4
集計母数	969	100.0
Q5-5. 障害者スポーツ(パラスポーツ)のボランティアをしたい	度数	%
よく当てはまる	42	4.3
やや当てはまる	150	15.5
あまり当てはまらない	420	43.3
まったく当てはまらない	357	36.8
集計母数	969	100.0
Q5-6. 2028年ロサンゼルス、2030年フランス・アルプス・パラリンピックにボランティアとしてかかわりたい	度数	%
よく当てはまる	33	3.4
やや当てはまる	131	13.5
あまり当てはまらない	398	41.1
まったく当てはまらない	407	42.0
集計母数	969	100.0
Q5-7. アスリートとして非常に優れていると感じた	度数	%
よく当てはまる	194	20.0
やや当てはまる	363	37.5
あまり当てはまらない	221	22.8
まったく当てはまらない	191	19.7
集計母数	969	100.0
Q5-8. 障害の有無にかかわらず、スポーツは一緒にできると感じた	度数	%
よく当てはまる	150	15.5
やや当てはまる	351	36.2
あまり当てはまらない	270	27.9
まったく当てはまらない	198	20.4
集計母数	969	100.0
Q5-9. 障害者への偏見がなくなった、身近な存在に感じた	度数	%
よく当てはまる	114	11.8
やや当てはまる	374	38.6
あまり当てはまらない	288	29.7
まったく当てはまらない	193	19.9
集計母数	969	100.0
Q5-10. 障害者と話がしたい、もっと知りたいと思った	度数	%
よく当てはまる	69	7.1
やや当てはまる	262	27.0
あまり当てはまらない	398	41.1
まったく当てはまらない	240	24.8
集計母数	969	100.0

Q6. あなたは日常生活の中で、障害のある人がスポーツを行う光景を見ることがありますか。(1つ選択)	度数	%
ある	159	7.7
ない	1901	92.3
集計母数	2060	100.0

Q7. あなたが日常生活の中で見る、障害のある人が行っているスポーツの種目をお選びください。複数ある場合は、主なものを最大3つまでお選びください。(3つまで選択可)	度数	%
バスケットボール	59	37.1
テニス	30	18.9
ジョギング・ランニング	27	17.0
サッカー	17	10.7
陸上競技	19	11.9
水泳	24	15.1
ウォーキング	14	8.8
サイクリング	5	3.1
ゲートボール	9	5.7
卓球	7	4.4
野球	8	5.0
バレーボール	2	1.3
ボッチャ	23	14.5
筋力トレーニング	15	9.4
ヨガ・ピラティス	6	3.8
その他	13	8.2
集計母数	159	100.0

Q8. あなたの身近に障害のある人がいますか。(複数選択可)	度数	%
自分自身が障害者である	118	5.7
親族に障害のある人がいる	189	9.2
職場に障害のある人がいる	65	3.2
友人・知人に障害のある人がいる	122	5.9
身近に障害のある人はいない	1632	79.2
集計母数	2060	100.0